

 **Valcucine**<sup>JP</sup>

2024.06



**Valcucine<sup>JP</sup>**

2024.06



# Valcucine × Japan

## 「人間は自然と調和して はじめて幸福感に満たされる」

これは、Valcucineのものづくりの原動力となる哲学です。  
“渓谷のキッチン”と名付けられたValcucineは、  
1980年に豊かな自然環境に恵まれたイタリア北東部の街、  
ポルデノーネで生まれました。  
自然と人間の調和を図りながら、独自の美意識を表現し、  
芸術性を備えた至高のキッチンを創造し続けているのです。

そして2021年、Valcucineの確固たる思想が日本へと受け継がれました。  
イタリアで大切にされてきた哲学や美学に、  
日本の風土や技術を融合したValcucine JPが誕生。  
唯一無二の価値を誇るそのキッチンを取り巻き、  
新たな物語がスタートします。

## Valcucineから受け継いだ 三つの理念



### WELL-BEING

#### 使い手が幸せであること

目指すのは、自由かつ快適に料理ができ、日常生活に幸せをもたらすキッチン。人間工学を重んじた設計により、使い手に寄り添う機能性の高いキッチンを実現し、幅広いニーズを満たします。同時に、シンプルながら洗練されたデザインや手触りの良い上質な素材で感性を刺激し、豊かな暮らしをかなえます。



### TIMELESS

#### いつまでも愛されること

使い手の生涯を通して、さらに次世代にわたっても愛され続けるキッチンを実現。常に本質とは何か追求し続けることで、トレンドに左右されない普遍的で美しいデザインを生み出します。また、本当に必要な存在であり続けるために、信頼性や耐久性にこだわったものづくりを行います。



### INNOVATION

#### 新たな価値を生み出すこと

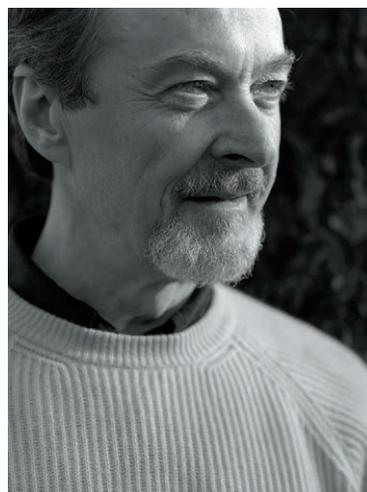
現状以上の質をどこまでも追い求め、これまでにない革新的なキッチンを提案。固定観念にとらわれることなく発想や知識を広げ、新しくユニークな技術や素材、機能、製造方法などを積極的に取り入れます。それらによって、空間やその使い方を一新し、暮らしに変革をもたらします。

## 思想に裏付けられたデザインには、 本当の美しさが宿る

Valcucineの創業者であると同時に、  
クリエイティブディレクターでもあるガブリエレ・チェンタッツォ。  
ブランドをかたちづくる思想は、ほかならぬ彼の頭の中そのものであり、  
情熱を持ってその強い想いを具現化しているのです。

建築家でありデザイナーでもある彼は、  
どんなものにも興味を持って問いかける探求心と、  
周囲に広がる自然界からのインスピレーションにより、  
自らの感性を育んできました。  
数々のスケッチを描いて生み出されるキッチンには、  
斬新で独創的ながらも、どこかぬくもりや調和が感じられ、  
安らぎに満ちた快適な暮らしを彷彿とさせます。

彼がデザイン監修を手がけた Valcucine JP においても、  
その想いは色濃く表れています。  
人間工学を重んじた設計、  
必要最低限の要素で構成された軽やかな佇まい、  
五感に訴えかける上質な素材、芸術的で精巧なディテール……。  
背景にある思想が、キッチンを美しいものへと昇華させるのです。



Gabriele Centazzo / ガブリエレ・チェンタッツォ

日本へと受け継がれた  
イタリアブランドの画期的なキッチン。  
その特別な存在が、日常を楽しむエッセンスとなり、  
あなたの暮らしを鮮やかに彩ることでしょう。

 Valcucine<sup>JP</sup>

























淡い光のラインを携えた、端正で軽やかなその存在。

まるでアートのように、そっと心の琴線を刺激する。

やがて、あなたの潜在的な美意識が目覚め、

創造力がはじけるとき、

揺るぎない価値がそこに生まれる。





## Valcucine Tokyo

バルクッチーネ東京

<https://valcucinetokyo.jp/showroom/>

MAIL: [grp.iaponica@cleanup.jp](mailto:grp.iaponica@cleanup.jp)

東京都港区南青山4-1-12 1階

東京メトロ「外苑前」より徒歩7分 / 東京メトロ「表参道」より徒歩11分

営業時間：平日10:00～18:00（完全予約制）

※土日祝日は定休日ですが、打合わせをご希望の方はご相談ください。

※専用駐車場はご用意しておりません。恐れ入りますが、周辺のコインパーキングをご利用ください。

